

しりべし経済レポート

Vol.101
(令和3年11月発行)



財務省 北海道財務局 小樽出張所

URL <http://hokkaido.mof.go.jp/otaru/index.html>

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

目 次


総括判断	1
個人消費	2
観光	4
住宅建設	6
公共工事	7
生産	7
雇用	8
【参考】		
金融	9
企業倒産	10

＝利用に当たっての注意＝







- ・数字の単位未満は原則として四捨五入としているため、合計と内訳の計、表中記載の前年比と表上での算出前年比が一致しない場合がある。
- ・本指標は本レポート発行時に公表されているデータを基に作成しており、原則としてその後のデータ提供先による修正を反映していない。

1. 【令和3年7月～9月期 総括判断】

管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

	前回（3.4～6期）	今回（3.7～9期）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	

2. 【各項目の判断】

	前回（3.4～6期）	今回（3.7～9期）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響が一部にみられたことから、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	
観光	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、弱い動きとなっている	
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	
公共工事	前年を上回る	前年を下回る	
生産	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある	
雇用	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、一進一退の状況にある	

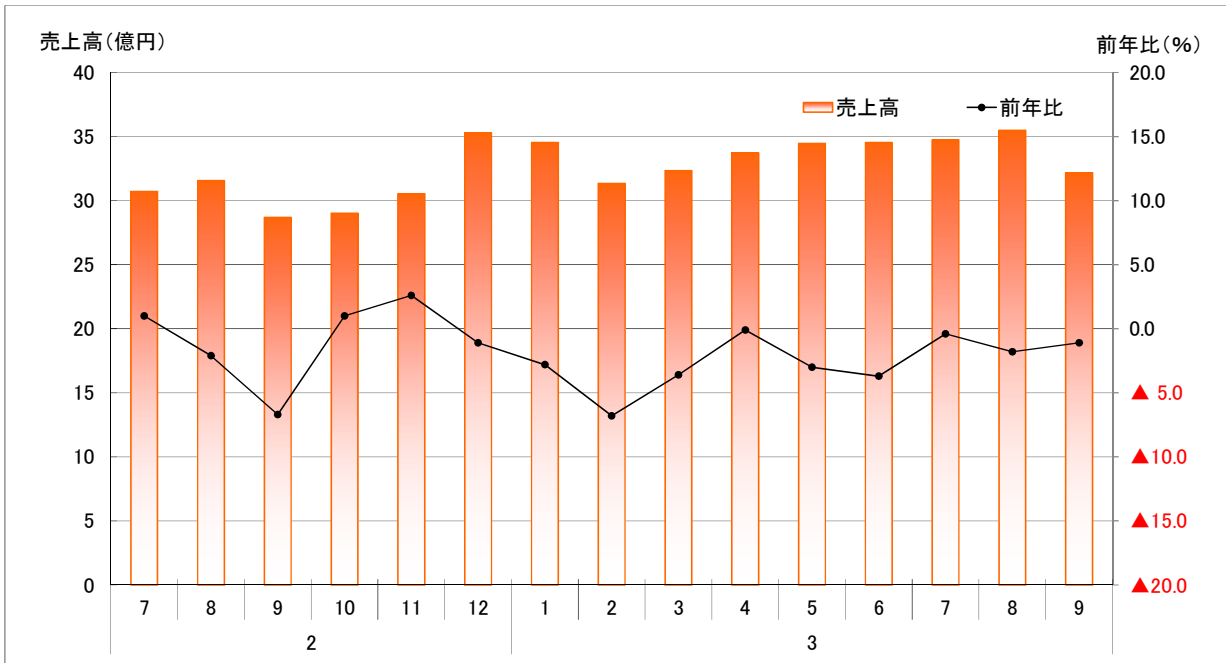
【個人消費】

新型コロナウイルス感染症の影響が一部にみられたことから、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

主要小売店売上高動向（3年7月～9月）をみると、猛暑の影響により飲料等の需要が高まったことなどから、飲食料品は前年を上回ったものの、マスク等の需要に落ち着きがみられたことなどから雑貨等が前年を下回ったため、全体では前年を下回っている。

新車登録・届出台数動向（3年7月～9月）をみると、半導体等の不足を要因とした納期の遅れにより、普通乗用車・小型乗用車、軽自動車ともに前年を下回っている。

主要小売店売上高



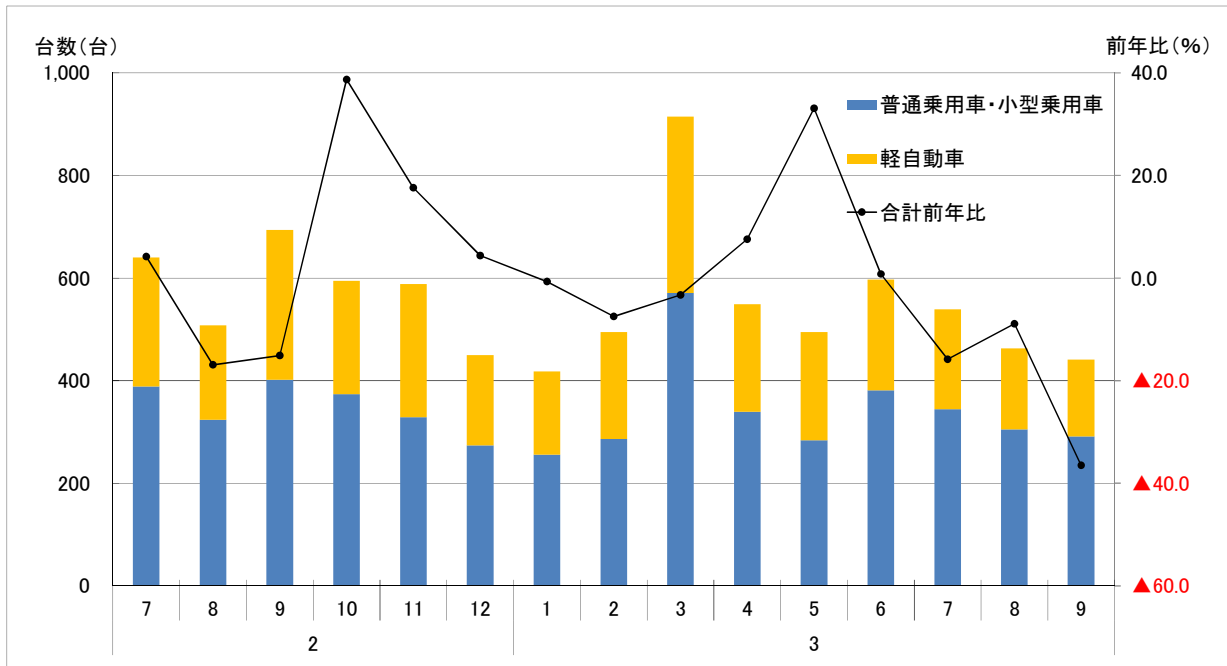
(単位:百万円、%)

	合計		うち飲食料品		うち雑貨		うち家庭用品		うち衣料品	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
31年	36,935	▲ 2.8	21,881	▲ 3.6	4,437	12.9	3,134	▲ 2.9	1,318	▲ 4.8
2年	36,745	▲ 0.5	21,717	▲ 0.8	4,594	3.5	3,152	0.6	1,074	▲ 18.5
2. 7～9	9,097	▲ 2.6	5,403	▲ 2.0	1,178	▲ 1.3	790	▲ 6.3	261	▲ 17.4
10～12	9,484	0.7	5,534	0.8	1,134	1.7	875	3.7	309	▲ 12.8
3. 1～3	9,820	▲ 4.4	6,261	▲ 3.5	1,057	▲ 7.3	680	▲ 4.1	282	▲ 12.9
4～6	10,271	▲ 2.3	6,276	▲ 1.5	1,145	▲ 4.6	703	▲ 9.7	321	▲ 1.7
7～9	10,237	▲ 1.1	6,418	0.6	1,157	▲ 4.1	758	▲ 4.0	310	▲ 9.6
3年4月	3,371	▲ 0.1	2,033	▲ 2.5	391	0.0	235	▲ 5.6	105	27.5
5月	3,446	▲ 3.0	2,091	▲ 2.8	372	▲ 5.0	231	▲ 6.6	99	3.9
6月	3,453	▲ 3.7	2,152	0.7	382	▲ 8.7	237	▲ 16.0	117	▲ 21.5
7月	3,473	▲ 0.4	2,132	0.3	399	▲ 2.8	273	2.1	124	▲ 0.7
8月	3,548	▲ 1.8	2,275	0.7	394	▲ 5.3	249	▲ 7.7	88	▲ 16.4
9月	3,216	▲ 1.1	2,011	0.7	365	▲ 4.2	236	▲ 6.6	98	▲ 13.3

(資料)北海道財務局小樽出張所

令和3年1月から集計対象小売店が追加となったため、令和2年12月以前の数字とは連続しない。

新車登録・届出台数



(単位:台、%)

	合計		普通乗用車・小型乗用車		軽自動車	
	前年比		前年比		前年比	
31年	-	-	4,512	▲ 1.8	-	-
2年	6,851	-	4,185	▲ 7.2	2,666	-
2. 7~9	1,842	▲ 9.8	1,115	▲ 10.4	727	▲ 8.8
10~12	1,633	20.1	977	13.9	656	30.7
3. 1~3	1,828	▲ 3.9	1,113	▲ 5.6	715	▲ 1.1
4~6	1,641	11.3	1,004	9.8	637	13.8
7~9	1,443	▲ 21.7	940	▲ 15.7	503	▲ 30.8
3年4月	549	7.6	339	15.7	210	▲ 3.2
5月	495	33.1	284	17.4	211	62.3
6月	597	0.8	381	0.5	216	1.4
7月	539	▲ 15.8	344	▲ 11.6	195	▲ 22.3
8月	463	▲ 8.9	305	▲ 5.9	158	▲ 14.1
9月	441	▲ 36.5	291	▲ 27.6	150	▲ 48.6

(資料)北海道財務局小樽出張所

Vol197(令和2年11月発行)より軽自動車届出台数のデータを追加。
データ追加に伴い、前年比は比較可能な数値のみ表示。

個人消費に関する生の声

- ・ 生鮮食品を調理するブームが落ち着き、すぐに食べることができる惣菜の人気の高まる傾向が続いており、コンスタントに伸びているという印象である。今期の特徴としては、東京2020オリンピックの観戦等のためか、お酒のつまみになるような商品の売れ行きが好調であった。(小売店)
- ・ 惣菜は引き続き前年を上回っている。これは生鮮食品を調理する手作りブームの一服に伴い、「即食」できる惣菜の売れ行きが良い状況が続いているためとみている。また、「即食」できる食品として、冷凍食品も引き続き売上が伸びている。(小売店)
- ・ 肉類が前年を上回ったのは、引き続き滞在型施設での焼肉での需要があったためとみている。週末のほか、7月の4連休やお盆休み等のまとまった休日があったため、焼肉需要は旺盛であったとみている。(小売店)
- ・ マスクや消毒液といった衛生用品は安定して需要があるものの、昨年のように向こう一年分を買いだめするなどの特需はなく、単価自体も低下していることから、売上に大きく貢献する状況ではなくなっている。(小売店)
- ・ 7、8月は猛暑のため、扇風機、エアコン(4~5万円台のスポットエアコンを含む)といった冷房等が堅調であった。需要があまりにも高く、同グループ他店から融通されてもなお在庫切れとなったことから、8月には減速してしまった。(小売店)
- ・ 半導体供給不足による影響が登録台数の減少に影響し始めている。納期長期化は短くて3か月程度と年内の納車が可能であるが、それ以外は概ね6か月程度となっている。(乗用車販売店)

【先行き】

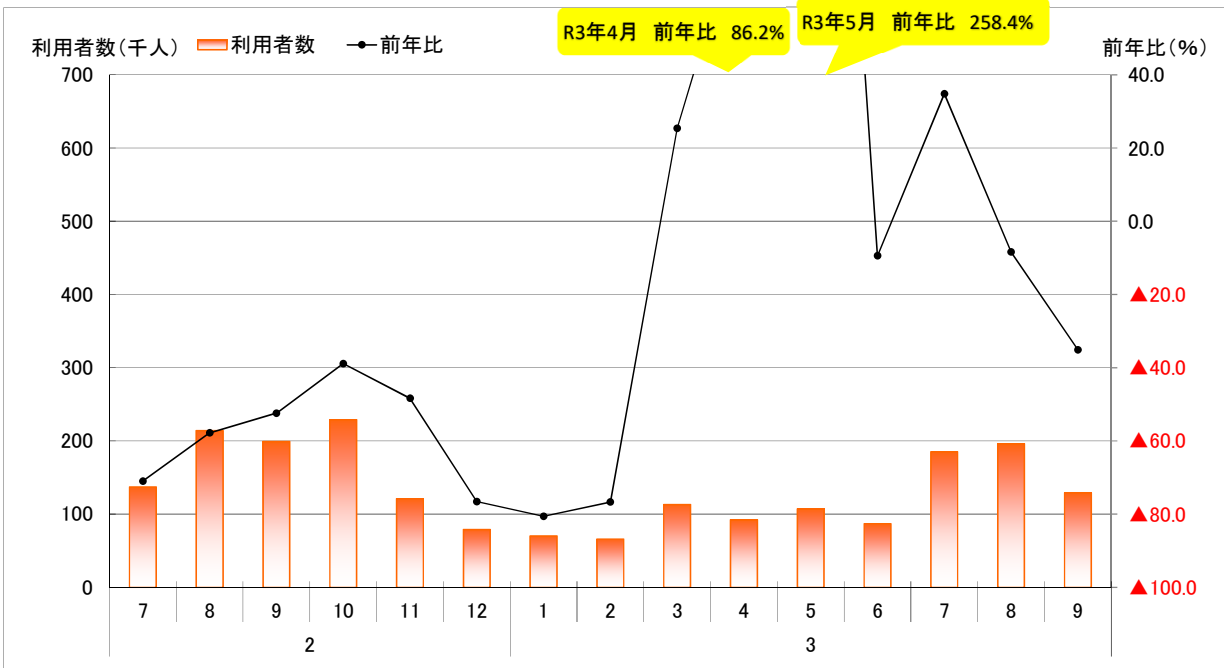
- ・ 新型車等の受注はそこそこあるものの大きく全体を押し上げるほどではない。また、緊急事態宣言が明けたことによって、顧客の消費動向が車の購入以外に向き始めているとみられ、足下の受注台数は前年を下回っている。(乗用車販売店)

【観光】

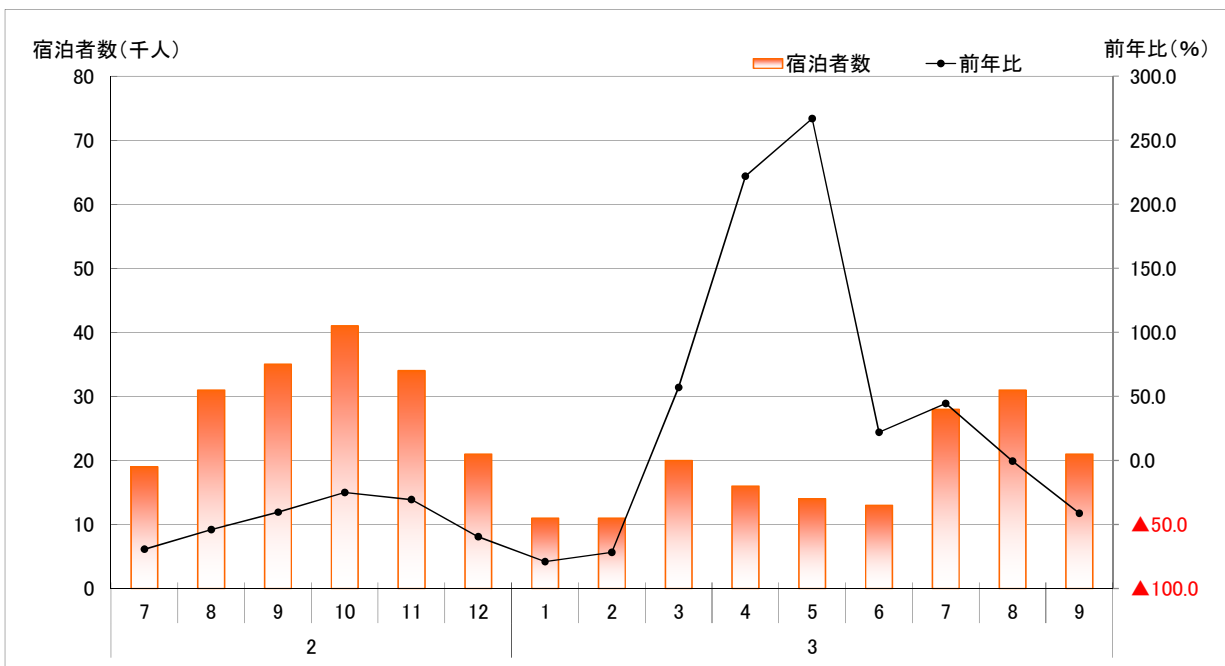
新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、弱い動きとなっている

主要観光施設利用者数、主要宿泊施設宿泊者数（3年7月～9月）をみると、緊急事態宣言の発令等の影響により、前年を下回った。

主要観光施設利用者数



主要宿泊施設宿泊者数(小樽市)



(単位:千人、%)

	主要観光施設 利用者数		主要宿泊施設 宿泊者数	
		前年比		前年比
31年	4,880	▲ 3.2	653	8.3
2年	1,891	▲ 61.3	305	▲ 53.2
2. 7～9	551	▲ 60.7	85	▲ 54.9
10～12	429	▲ 54.7	97	▲ 38.3
3. 1～3	250	▲ 66.1	42	▲ 59.9
4～6	286	63.0	43	120.1
7～9	511	▲ 7.3	79	▲ 7.0
3年4月	92	86.2	16	221.8
5月	107	258.4	14	266.8
6月	87	▲ 9.4	13	22.0
7月	185	34.8	28	44.5
8月	196	▲ 8.4	31	▲ 0.5
9月	129	▲ 35.1	21	▲ 41.2

(資料)小樽市、北海道財務局小樽出張所

観光に関する生の声

- ・7月上旬にまん延防止等重点措置が解除され、宣言等がない状態で4連休を迎えたことにより、関東圏や関西圏からの来客数が増加し、7月全体は前年同期より増加した。しかし、例年の50%未満という低い水準にとどまった。(観光施設)
- ・8月は3連休からお盆明けまで、道内容数、道外客数ともに増加し、前年同期を上回った。しかし、お盆明けからは来客数が減少し、例年の50%未満という低い水準にとどまった。(宿泊施設)
- ・7,8月の連休は今年のGWと同水準の観光客数となったが、平日の観光客数は少なく引き続き厳しい状況が続いている。(公的機関)
- ・9月は緊急事態宣言の影響により修学旅行の中止や延期、団体客ツアーの中止などから減少した。(公的機関)
- ・7～9月は若年層の来館が多く夏休みの影響によるものと考えられる。道外からは関東圏、関西圏、東海、甲信越からの来客が多くあった。しかし、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令されていた期間が長く、通常時の来館者に多いシニア層の来館者数は減少した。(観光施設)
- ・宣言下での休業中は、回数を減らしながらも勉強会やミーティングを行った。その他、設備の補修や外観の補修を行って営業再開までの準備を行った。(観光施設)
- ・キャンプやグランピングのブームによりキャンピングカーを利用する人々に向けて、駐車場を貸し出しているホテルがある。(公的機関)
- ・素泊まり宿泊し、部屋で食事を済ませる客が増えてきていることを受け、弁当の販売を開始した。(観光施設)

【先行き】

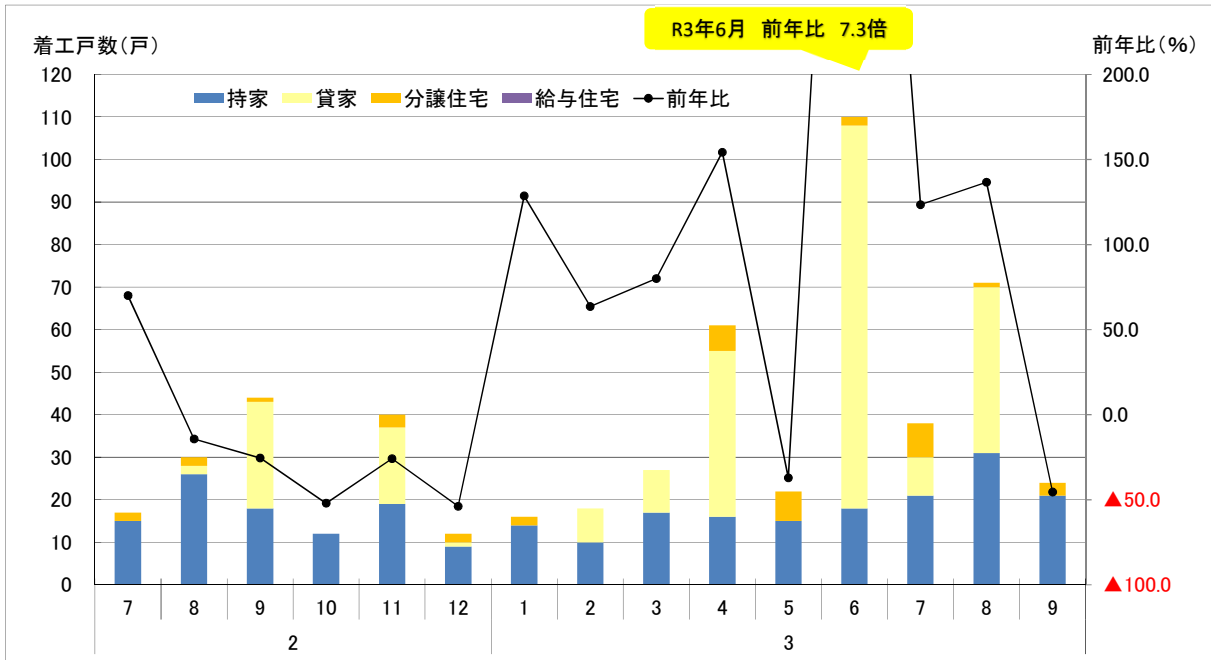
- ・10月の足下の動向は、宣言の解除により来館者数が増加している。夏休みが明けたため若年層の来館は少なくなったが、通常時の来館者に多いシニア層の来館者数が増加している印象である。また道内の小中学校の見学学習の予約や修学旅行の予約も増加しており、11月までの予約が入る予定である。(観光施設)
- ・9月の中旬からニセコ町観光プレミアム付商品券を販売しており、緊急事態宣言が明けた10月からの利用が増えてくるのではないかと考えられる。(公的機関)
- ・10月の足下の状況は、「新しい旅のスタイル」や「もっと泊マル、オタル」が再開されたため問い合わせの電話が急増しており、客足の回復が見込める。(宿泊施設)

【住宅建設】

前年を上回る

新設住宅着工戸数（3年7月～9月）をみると、持家、貸家ともに前年を上回っていることから、全体でも前年を上回っている。

新設住宅着工戸数(小樽市)



(単位: 戸、%)

	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
31年	372	▲24.7	170	3.0	175	▲44.4	7	7.0倍	20	53.8
2年	262	▲29.6	162	▲4.7	74	▲57.7	0	皆減	26	30.0
2. 7～9	91	▲12.5	59	31.1	27	▲50.0	0	皆減	5	0.0
10～12	64	▲39.0	40	▲9.1	19	▲64.2	0	0.0	5	▲37.5
3. 1～3	61	84.8	41	70.8	18	皆増	0	0.0	2	▲77.8
4～6	193	2.6倍	49	25.6	129	4.6倍	0	0.0	15	2.1倍
7～9	133	46.2	73	23.7	48	77.8	0	0.0	12	2.4倍
3年4月	61	2.5倍	16	33.3	39	4.3倍	0	0.0	6	2.0倍
5月	22	▲37.1	15	7.1	0	皆減	0	0.0	7	3.5倍
6月	110	7.3倍	18	38.5	90	皆増	0	0.0	2	0.0
7月	38	2.2倍	21	40.0	9	皆増	0	0.0	8	4.0倍
8月	71	2.4倍	31	19.2	39	19.5倍	0	0.0	1	▲50.0
9月	24	▲45.5	21	16.7	0	皆減	0	0.0	3	3.0倍

(資料)国土交通省

住宅建設に関する生の声

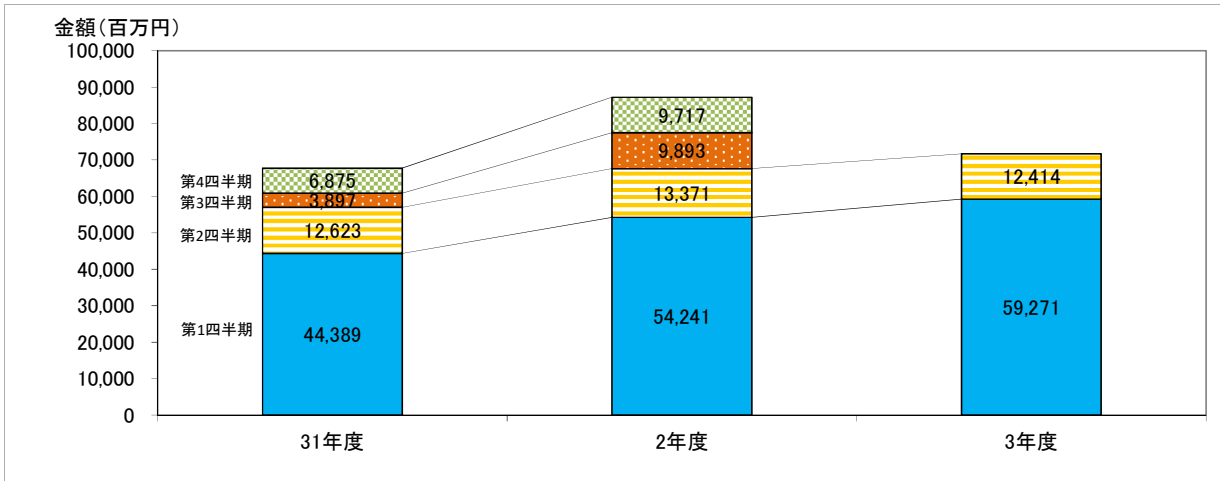
- ・持家需要が堅調な要因として、住まい給付金の入居期限を延長するには2021年9月末までに建築請負契約を結ぶことが必要のため駆け込み需要があったことが挙げられる。(不動産会社)
- ・住宅建設需要は引き続き堅調に感じられるが、市街地では地価が高く、土地が少ないという問題がある。(不動産会社)
- ・解体工事については小樽市内全域で増えてきており、今後も増えることが予想されるが、どの地区も建設需要が高いわけではなく、今現在人気の地区に今後も需要が集中するのではないかと考えられる。(公的機関)
- ・木材価格は4～6月期時点より2～3割上昇しており、木材の供給が追いついたとしても1度上昇した価格が下がるのは数年かかる見通しである。また、木材を扱う職人の高齢化や後継ぎ問題に加え、ウッドショックが起きたため職人への手間賃を上げた影響により住宅価格は上昇している。さらに、世界的な半導体不足の影響により、ハイテク化された住宅機器の供給が難しくなっており、ウッドショックと同様に住宅価格上昇の原因となっている。(不動産会社)
- ・1,2年ほど前から余市での契約が安定して締結されている。要因としては高速道路の延伸による影響や地価が比較的低いことが挙げられる。(不動産会社)
- ・倶知安町内の共同住宅確認申請数は昨年同期より減少している。要因として、土地がなく高価格になっていることや、冬季人口の減少により完成したマンション・アパートに空室が目立つことが挙げられる。(公的機関)

【公共事業】

前年を下回る

公共工事前払金保証請負金額（3年7月～9月）をみると、前年を下回っているものの、年度累計では前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位: 百万円、%)

	月間		累計(年度)	
		前年比		前年比
31年度	-	-	67,789	▲7.1
2年度	-	-	87,228	28.7
2. 7～9	13,371	5.9	67,612	18.6
10～12	9,893	2.5倍	77,505	27.2
3. 1～3	9,717	41.3	87,222	28.7
4～6	59,271	9.3	59,271	9.3
7～9	12,414	▲7.2	71,685	6.0
3年4月	36,389	20.4	36,389	20.4
5月	14,724	▲14.5	51,113	7.7
6月	8,158	20.1	59,271	9.3
7月	7,490	0.9	66,761	8.3
8月	2,980	▲24.4	69,741	6.3
9月	1,944	▲3.2	71,685	6.0

(資料) 北海道建設業信用保証(株)

【生産】

新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある

生産動向（3年7月～9月）をみると、生コン出荷状況は、官需、民需とも前年を上回り、全体でも前年を上回っている。

水産加工は、新型コロナウイルス感染症による土産需要の弱さ等がある一方で、冷凍食品等の需要が堅調であり、一進一退の状態である。なお、一部に人手不足の声が聞かれている。

金属・機械は、受注した案件が本格的に動き出したほか、新規案件の受注等により、持ち直しの動きがみられる。

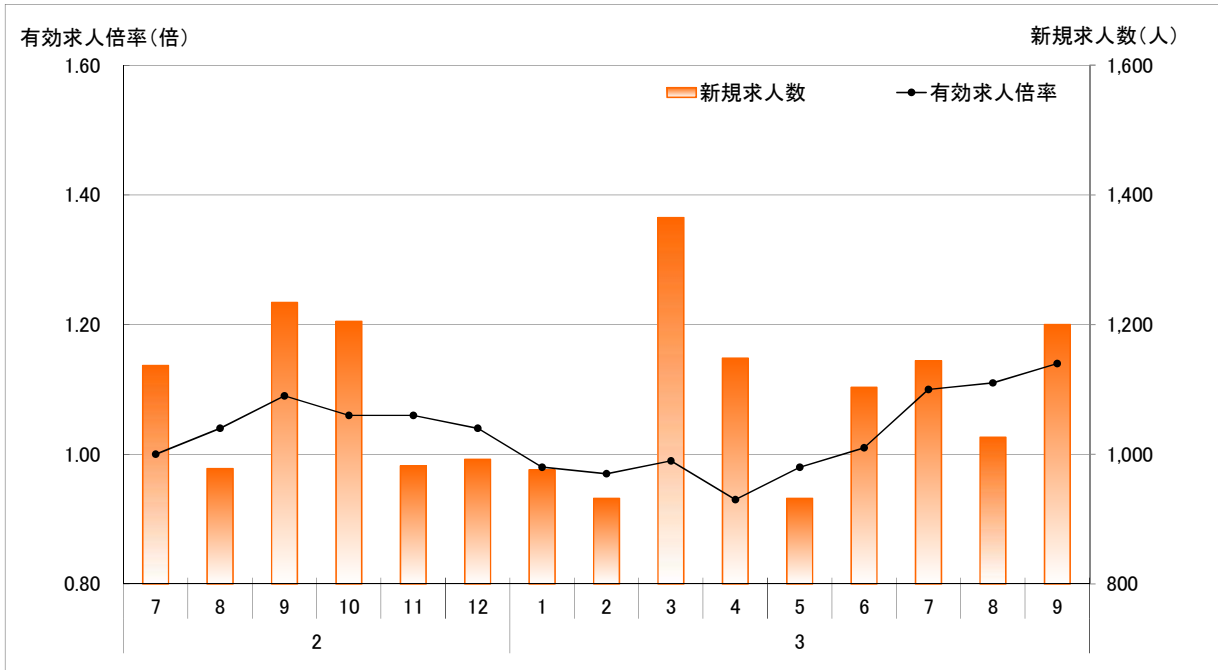
プラスチック・ゴムは、引き続き、半導体工場向けクリーンルーム用シューズが好調であるほか、業務用梱包材や土産包装用フィルムに持ち直しの動きがみられるなど、緩やかに持ち直しつつある。

【雇用】

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、一進一退の状況にある

雇用動向（3年7月～9月）をみると、有効求人倍率、新規求人数ともに前年を上回っている。

有効求人倍率(常用・原数値)、新規求人数



(単位:人、%、倍、ポイント)

	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職者数		新規求人数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比
31年	30,966	▲ 6.6	47,564	4.5	1.54	0.17	7,946	▲ 6.0	16,938	2.7
2年	33,792	9.1	37,554	▲ 21.0	1.11	▲ 0.43	7,742	▲ 2.6	13,437	▲ 20.7
2. 7～9	8,632	13.7	9,020	▲ 26.2	1.04	▲ 0.57	1,598	▲ 10.3	3,349	▲ 23.2
10～12	8,789	23.7	9,240	▲ 19.4	1.05	▲ 0.56	1,674	4.4	3,179	▲ 16.1
3. 1～3	8,822	21.8	8,643	▲ 15.6	0.98	▲ 0.43	2,051	0.7	3,273	▲ 11.8
4～6	9,230	1.1	8,953	▲ 1.2	0.97	▲ 0.02	2,072	▲ 14.8	3,183	▲ 0.5
7～9	8,295	▲ 3.9	9,267	2.7	1.12	0.08	1,642	2.8	3,370	0.6
3年4月	3,304	8.9	3,075	▲ 5.0	0.93	▲ 0.14	987	▲ 8.8	1,148	▲ 2.2
5月	3,046	▲ 0.0	2,977	2.4	0.98	0.03	528	▲ 23.4	932	▲ 0.7
6月	2,880	▲ 5.5	2,901	▲ 0.5	1.01	0.05	557	▲ 15.9	1,103	1.7
7月	2,715	▲ 6.9	2,996	2.5	1.10	0.10	567	▲ 1.6	1,144	0.6
8月	2,779	▲ 1.5	3,086	5.0	1.11	0.07	563	24.0	1,026	4.9
9月	2,801	▲ 3.3	3,185	0.8	1.14	0.05	512	▲ 9.9	1,200	▲ 2.8

(資料)小樽・岩内公共職業安定所

※本指標は常用と常用パートの合計である

雇用に関する生の声

・7～9月期は有効求人倍率が3か月連続で1.00倍を上回り、かつ前年を上回った。コロナ禍前の水準には遠く及ばないものの、方向性は上向きつつあるとみている。(公的機関)

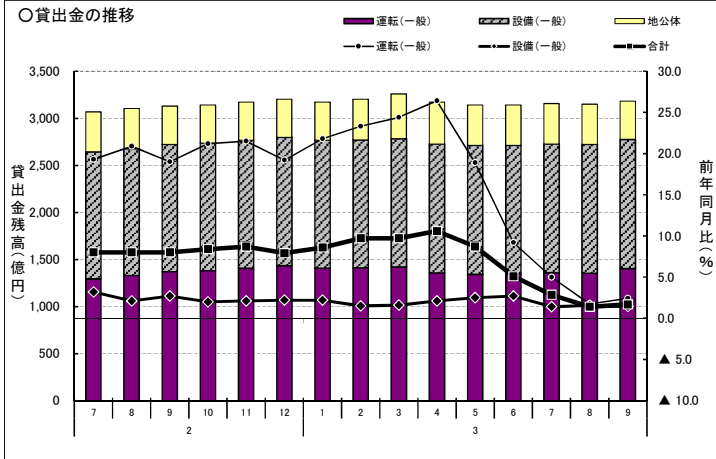
・7月の雇用調整助成金申請受理件数はR2年4月の制度開始以降最多件数となっている。5～6月に緊急事態宣言が発令されたことによる影響とみている。雇用保険の受給者数は減少傾向にあり、雇用調整助成金の支給により雇用を維持するという状況が続いている。(公的機関)

参考

【金融】

貸出金残高は前年を上回る

金融(貸出金)

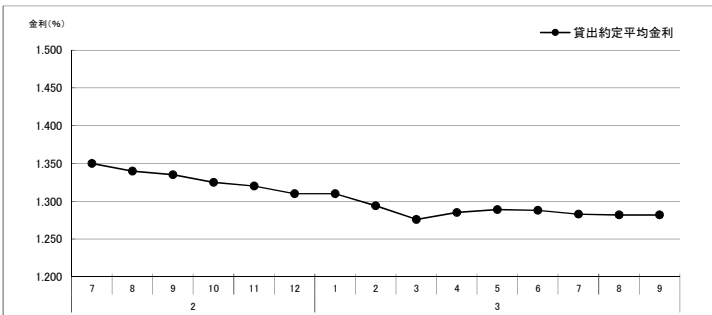


(資料)北海道財務局小樽出張所

	金額(百万円)			合計	前年比
	設備(一般)	運輸(一般)	地公体		
2年3月	134,045	114,181	48,834	297,060	-
3年3月	136,222	142,066	47,617	325,905	9.7
3年4月	136,913	135,677	44,525	317,115	10.6
5月	136,994	134,200	42,873	314,067	8.7
6月	136,767	134,394	42,873	314,034	5.1
7月	136,726	135,950	42,873	315,549	2.8
8月	136,855	135,438	42,486	314,779	1.4
9月	136,999	140,504	40,732	318,235	1.7

(注) 1. (一般)は法人及び個人向けの貸出である。
2. 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫である。
3. 貸出集計先の変更に伴い過去の数値を調整のうえ修正し、前年比は比較可能な数値のみ表示。

金融(貸出約定平均金利)



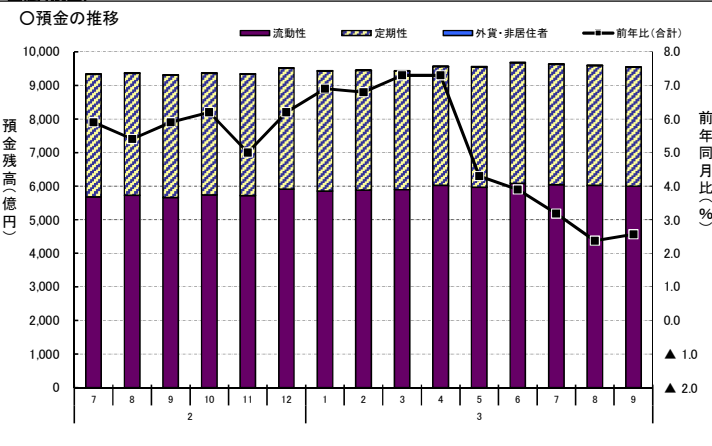
(資料)北海道財務局小樽出張所

	金利(%)	前年差(Pt)
2年3月	1.369	▲ 0.035
3年3月	1.276	▲ 0.093

	金利(%)	前月差(Pt)
3年4月	1.285	0.009
5月	1.289	0.004
6月	1.288	▲ 0.001
7月	1.283	▲ 0.005
8月	1.282	▲ 0.001
9月	1.282	0.000

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

金融(預金)



(資料)北海道財務局小樽出張所

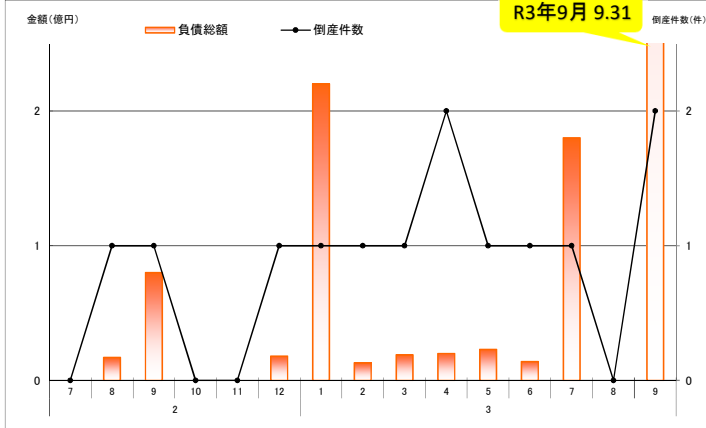
	金額(百万円)			合計	前年比
	流動性	定期性	外貨・非居住		
2年3月	517,255	360,727	1,513	879,495	0.4
3年3月	589,684	353,013	1,033	943,730	7.3
3年4月	601,957	354,316	984	957,257	7.3
5月	597,009	358,104	957	956,070	4.3
6月	608,251	359,517	961	968,729	3.9
7月	604,514	358,570	945	964,029	3.2
8月	602,415	356,649	885	959,949	2.4
9月	599,991	354,521	964	955,476	2.6

(注) 統計対象業態は、ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、労働金庫である。

【企業倒産】

件数、負債総額ともに前年を上回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)



(資料)株式会社東京商工リサーチ

	倒産件数(件)	前年比	負債総額(百万円)	前年比
31年	11	▲ 15.4	1,082	▲ 9.4
2年	7	▲ 36.4	896	▲ 17.2

2.7~9	2	▲ 33.3	97	▲ 62.7
10~12	1	▲ 50.0	18	▲ 95.8
3.1~3	3	▲ 25.0	252	▲ 67.7
4~6	4	皆増	57	皆増
7~9	3	50.0	1,111	11.5倍

3年4月	2	皆増	20	皆増
5月	1	皆増	23	皆増
6月	1	皆増	14	皆増
7月	1	皆増	180	皆増
8月	0	皆減	0	皆減
9月	2	2.0倍	931	11.6倍

お問い合わせ先

財務省 北海道財務局

小樽出張所 財務課

〒 047-0007 小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

TEL 0134-23-4103

FAX 0134-22-9957